

膜シンポジウム2006 プログラム

研究発表 1件20分(発表12分, 討論7分, 交替1分)

第1日 11月21日(火)

- 開会の挨拶(9:25~9:30)
- 講演 101-109(9:30~12:30)
- <座長> 半田哲郎(9:30~10:30)
- 101 アポリポ蛋白質A-IのN末端ヘリックスによるバンドル構造安定化と脂質膜への結合制御
(¹神戸薬大,²ペンシルバニア大医・フィラデルフィア小児病院)
田中将史¹), 大田慎也¹), Sissel Lund-Katz²), Michael C. Phillips²), 斎藤博幸¹)
- 102 C末端欠損アポE4変異体の構造と脂質膜結合
(¹神戸薬大,²ペンシルバニア大医・フィラデルフィア小児病院)
斎藤博幸¹), 阪本崇彰¹), 田中将史¹), Sissel Lund-Katz²), Michael C. Phillips²)
- 103 MDR2発現細胞からのリン脂質とコレステロールの排出
(京大院・農)
森田真也, 小林 綾, 松尾道憲, 植田和光
- <座長> 中野 実(10:30~11:30)
- 104 ポリフェノールのP-糖蛋白質機能阻害作用
(¹神戸薬大,²新潟薬大・薬)
北河修治¹), 中村 裕²), 高橋知春²), 鍋倉智裕²)
- 105 Structure at the Transmembrane Boundary of EGFR (622-660) and Interaction with Ca²⁺/Calmodulin
(¹大阪大蛋白研,²Stony Brook University)
佐藤 毅¹), 相本三郎¹), Stuart McLaughlin²), Steven O. Smith²)
- 106 ミトコンドリア内膜に存在するComplex Iを阻害するアセトゲニン類の合成と阻害能に関する研究
(¹京都府立医大院,²信州大院・農)
今野博行¹), 野坂和人¹), 赤路健一¹), 真壁秀文²)
- <座長> 高木良助(11:30~12:30)
- 107 セルアナライザー“Quanta”を用いた新規細胞内Cl⁻濃度測定系の確立
(京都府立医大院)
宮崎裕明, 新里直美, 丸中良典
- 108 細胞間隙イオンコンダクタンス測定方法の確立
(京都府立医大院)
徳田深作, 新里直美, 丸中良典
- 109 水の動きによる細胞間隙コンダクタンスのイオン選択的調節
(京都府立医大院)
徳田深作, 新里直美, 丸中良典
- 昼食(12:30~13:30) —————
- 講演 110-115(13:30~15:30)
- <座長> 後藤雅宏(13:30~14:30)
- 110 細胞分裂の誘電モニターとモデリング
(京大化研)
浅見耕司
- 111 高度含フッ素リン脂質液晶膜の創製と特性化
(¹産総研・バイオニクスRC,²産総研・計算科学RI)
馬場照彦¹), 高井克毅¹), 高木俊之¹), 金森敏幸¹), 篠田 渉²), 齋藤大明²), 三上益弘²)
- 112 スフィンゴミエリンからセラミドへの変換によるミクロドメイン構造変化のイメージング解析
(東北大院・理)
谷口幸範, 大木和夫
- <座長> 北河修治(14:30~15:30)
- 113 薬物の溶解性に疎水性, 熱力学的性質が与える影響とその応用
(¹塩野義製薬(株)・製剤研究部,²Purdue University, Industrial & Physical Pharmacy)
都 保啓^{1,2}), 鷲尾篤志¹), 竹島和男¹), Rodolfo Pinal²), 谷野忠嗣¹)
- 114 脂肪乳剤のドラッグキャリアとしての応用研究
(三菱ウェルファーマ(株)・創剤研究所)
名和義仁, 斉藤 浩, 巖 徹, 千葉雅俊
- 115 ナノ分子集合体逆ミセルによるDNAの配列選択的抽出分離
(九大院・工)
後藤雅宏, 細木卓也, 丸山達生, 神谷典穂
- 企業プレゼンテーション(15:30~15:50)

- 講演 116-121 (15:50 ~ 17:50)
 <座長> 馬場照彦 (15:50 ~ 16:50)
- 116 両親媒性ペプチドの脂質膜構造に及ぼす効果と膜結合性の評価
 (京大院・薬)
 加茂倫有, 中野 実, 新藤圭介, 黒田義弘, 半田哲郎
- 117 分子動力学シミュレーションによるモデル膜の解析
 (千葉大院・医学薬学府)
 森 健一, 今井陽介, 星野忠次
- 118 超音波振動法によるベシクル膜表面状態の評価
 (東理大・薬)
 高田陽一, 遠山佳奈, 宮山達成, 大島広行

- <座長> 浅見耕司 (16:50 ~ 17:50)
- 119 天然高分子からなる無機架橋膜および有機架橋膜の調製とエタノール水溶液透過分離特性の比較検討
 (1) 関西大工, (2) 関西大HRC)
 脇田太介¹⁾, 宮田隆志^{1,2)}, 浦上 忠^{1,2)}
- 120 複合膜を透過するイオン流束に対するイオン拡散と体積流の寄与
 (夙川学院短大)
 高木良助
- 121 イオン浸透性帯電膜で覆われたコロイド粒子分散系のコロイド振動電位
 (東理大・薬)
 大島広行

懇親会 京大会館 特別室にて (18:00 ~ 20:00)

第2日 11月22日(水)

- 講演 201-209 (9:00 ~ 12:00)
 <座長> 金森敏幸 (9:00 ~ 10:00)
- 201 プルロニック表面固定化膜における細胞剥離と造血幹細胞の維持
 (成蹊大・理工)
 樋口亜紺, 五明由美子, 山本太郎, 松岡由季
- 202 浸透圧を利用した新規抗原認識ゲート型バイオセンサーの開発
 (東大院・工)
 黒木秀記, 山口猛央
- 203 DNAからの分離膜の創成
 (1) 京都工繊大, (2) トレキオン, (3) 緒方材料科学研究所)
 吉川正和¹⁾, 丸橋基一¹⁾, 佐田 勉²⁾, 緒方直哉³⁾
- <座長> 伊藤大知 (10:00 ~ 11:00)
- 204 卵殻膜の酸素透過性(4)
 (東京工科大・バイオニクス)
 箕浦憲彦, 宮沢直也, 日向麻須美, 吉廻智江
- 205 リグニン誘導体を前駆体とする炭素膜の分離性と細孔構造の評価
 (1) 山口大・工, (2) SORST JST, (3) 大阪市工研, (4) 三重大・生物資源)
 古賀智子¹⁾, 田中一宏¹⁾, 喜多英敏^{1,2)}, 川舟功朗³⁾, 船岡正光^{2,4)}
- 206 ゼオライト膜のエステル化反応への応用

- (1) 山口大・工, (2) デイックテクノ)
 喜多英敏¹⁾, 永松辰也¹⁾, 山内祐輔¹⁾, 田中一宏¹⁾, 宮下 真²⁾
- <座長> 吉川正和 (11:00 ~ 12:00)
- 207 ナノ濾過膜におけるイオン阻止の分子シミュレーション
 (東北大院・工)
 高羽洋充, 佐藤実来, 河村光隆, 中尾真一, 宮本 明
- 208 遷移状態理論と分子動力学法を利用したゼオライト細孔内拡散係数の高速計算
 (1) 東大院・工, (2) 東北大院・工)
 南雲 亮¹⁾, 高羽洋充²⁾, 中尾真一¹⁾
- 209 多孔性アモルファスシリカ膜の二元細孔構造と気体透過特性
 (広島大院・工)
 吉岡朋久, 安本章紀, 岸 幸平, 浅枝正司, 都留稔了

————— 昼食 (12:00 ~ 13:00) —————

- 講演 210-221 (13:00 ~ 17:00)
 <座長> 比嘉 充 (13:00 ~ 14:00)
- 210 多孔性膜に搭載したグラフト鎖へ抽出試薬を担持することによる金属分離の迅速化
 (1) 原子力研究開発機構, (2) 環境浄化研究所, (3) 千葉大院・自然科学)
 浅井志保¹⁾, 篠原伸夫¹⁾, 須郷高信²⁾, 斎藤

恭一³⁾

- 211 原子力廃液処理への応用を目指した Polymer Inclusion Membrane (PIM) の開発～耐久性向上の検討～

(¹⁾産総研・バイオニクスRC, (²⁾産総研・ナノテクノロジー, (³⁾宇都宮大・工)

金森敏幸¹⁾, 井上真美¹⁾, 馬場照彦¹⁾, 新保外志夫¹⁾, 岩坪 隆²⁾, 鈴木理恵³⁾, 平谷和久³⁾

- 212 ガス分離用 PPO 誘導体中空糸カーボン膜の開発

(産総研・環境化学技術)

吉宗美紀, 原谷賢治

<座長> 松山秀人 (14:00 ~ 15:00)

- 213 高温水素分離用膜モジュールのシール化技術の開発と対向拡散 CVD 法によるシリカ膜の多数本製膜

(NOK株式会社)

宇田 徹, 井川雄介, 幸田 譲, 小島隆二

- 214 高回収率海水淡水化用逆浸透膜の開発と実績

(東洋紡(株)・岩国事業所)

高地健太, 小寺秀人, 丸井一成, 熊野淳夫, 八木敏幸

- 215 スルホン化ポリアリレーンエーテル系高分子電解質の合成と燃料電池膜特性

(東洋紡(株)・総合研究所)

坂口佳充, 北村幸太, 高瀬 敏

<座長> 高羽洋充 (15:00 ~ 16:00)

- 216 高温耐水蒸気性を有する γ -アルミナ系メソ多孔質膜の開発

(¹⁾(財)ファインセラミックスセンター

(JFCC), (²⁾東大院・工)

Md. Hassan Zahir¹⁾, 佐藤功二¹⁾, 永野孝幸¹⁾, 森 博¹⁾, 岩本雄二¹⁾, 野村幹弘²⁾, 中尾真一²⁾

- 217 実用的 FAU 型ゼオライト膜の開発

((株)物産ナノテク研究所)

佐藤公則 杉本和則, 中根 堯

- 218 ゼオライト管状膜表面の濃度分極について

(¹⁾静岡大・工, (²⁾(株)物産ナノテク研究所)

溝口健作¹⁾, 松井誉敏¹⁾, 青木勇祐¹⁾, 遠藤愛美¹⁾, 藤田順子¹⁾, 岡野泰則¹⁾, 中根 堯²⁾, 池田史郎²⁾, 沢崎俊昭²⁾, 佐藤公則²⁾

<座長> 都留稔了 (16:00 ~ 17:00)

- 219 ポリビニルアルコール系固体高分子電解質の膜構造とイオン輸送特性との関係

(山口大院・理工)

比嘉 充, 赤嶺健太, 杉田幹典, 前嶋晋一

- 220 pH 応答性を有する分子識別性多孔質ガラス膜の創成

(兵庫県立大院・工)

宮本翔志, 嶺重 温, 小舟正文, 遊佐真一, 矢澤哲夫

- 221 高温下で機能する CO₂ 選択透過膜の開発

(¹⁾神戸大・自然科学, (²⁾ルネッサンス・エナジー・リサーチ, (³⁾神戸大・工)

広沢洋帆¹⁾, 寺本正明²⁾, Reza Yegani²⁾, 姫井浩明²⁾, 岡田 治²⁾, 曾谷知弘³⁾, 大村直人³⁾, 松山秀人³⁾

閉会の挨拶 (17:00 ~ 17:05)